

(5) 犯罪防止に関する意識について

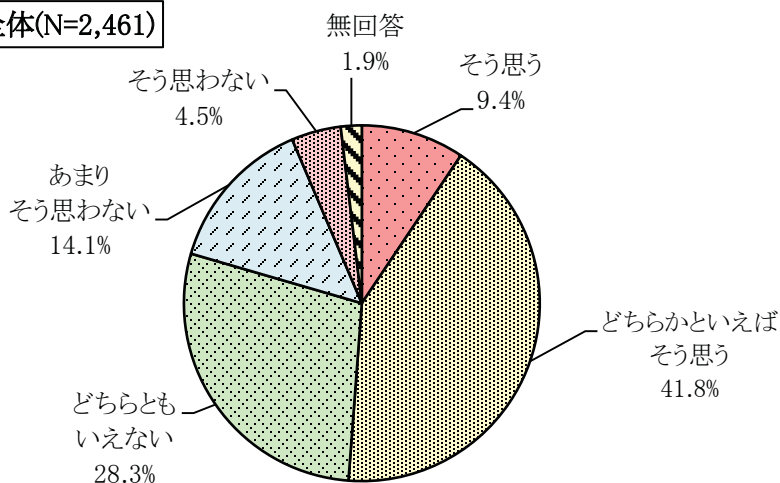
札幌市が「犯罪の被害に遭わずに安全に安心して暮らせるまち」と思えるか

【問1】 あなたは、札幌市が「犯罪の被害に遭わずに安全に安心して暮らせるまち」だと思いますか。

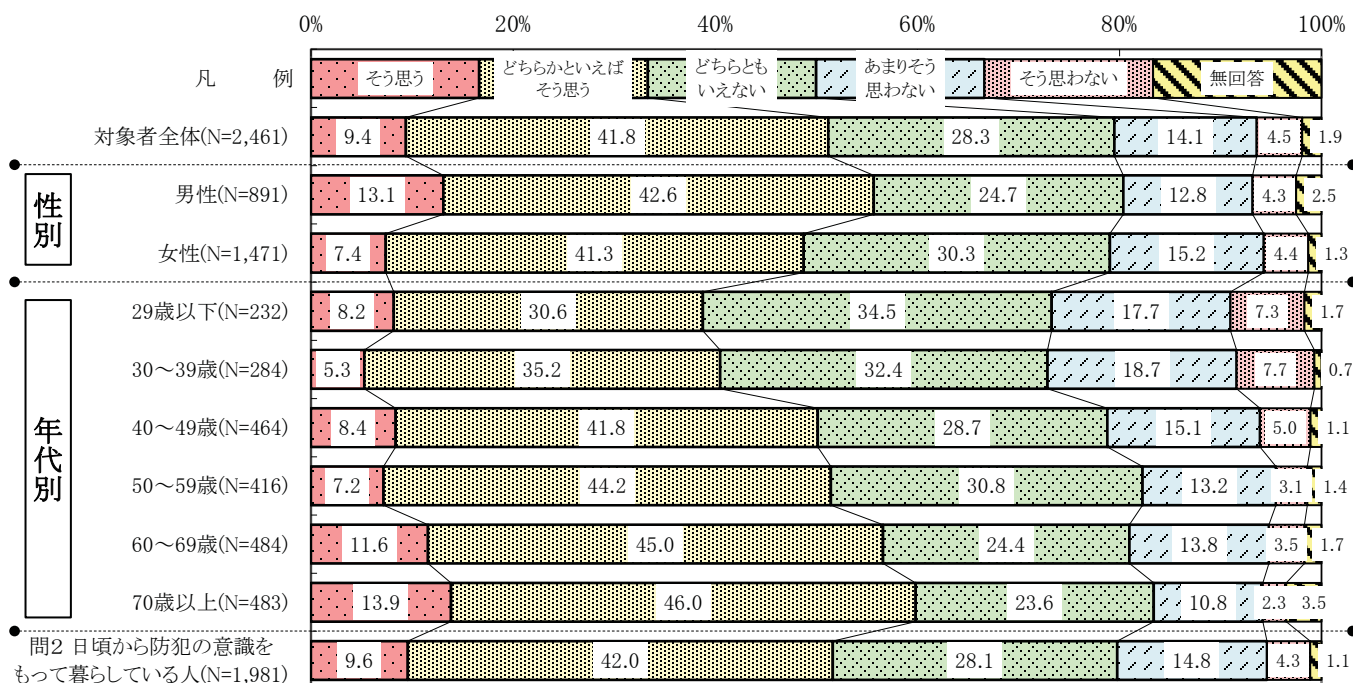
札幌市が「犯罪の被害に遭わずに安全に安心して暮らせるまち」と思う人は約 5 割

※“そう思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）

対象者全体(N=2,461)



【対象者全体】 札幌市が「犯罪の被害に遭わずに安全に安心して暮らせるまち」と思えるかについて、「そう思う」が 9.4%、「どちらかといえばそう思う」が 41.8%、合わせると 51.2%となっている。一方で、「あまりそう思わない」が 14.1%、「そう思わない」が 4.5%、合わせると 18.6%となっている。なお、「どちらともいえない」が 28.3%となっている。



【性別】 “そう思う”は男性が 55.8%と女性の 48.7%より 7.1 ポイント高くなっている。

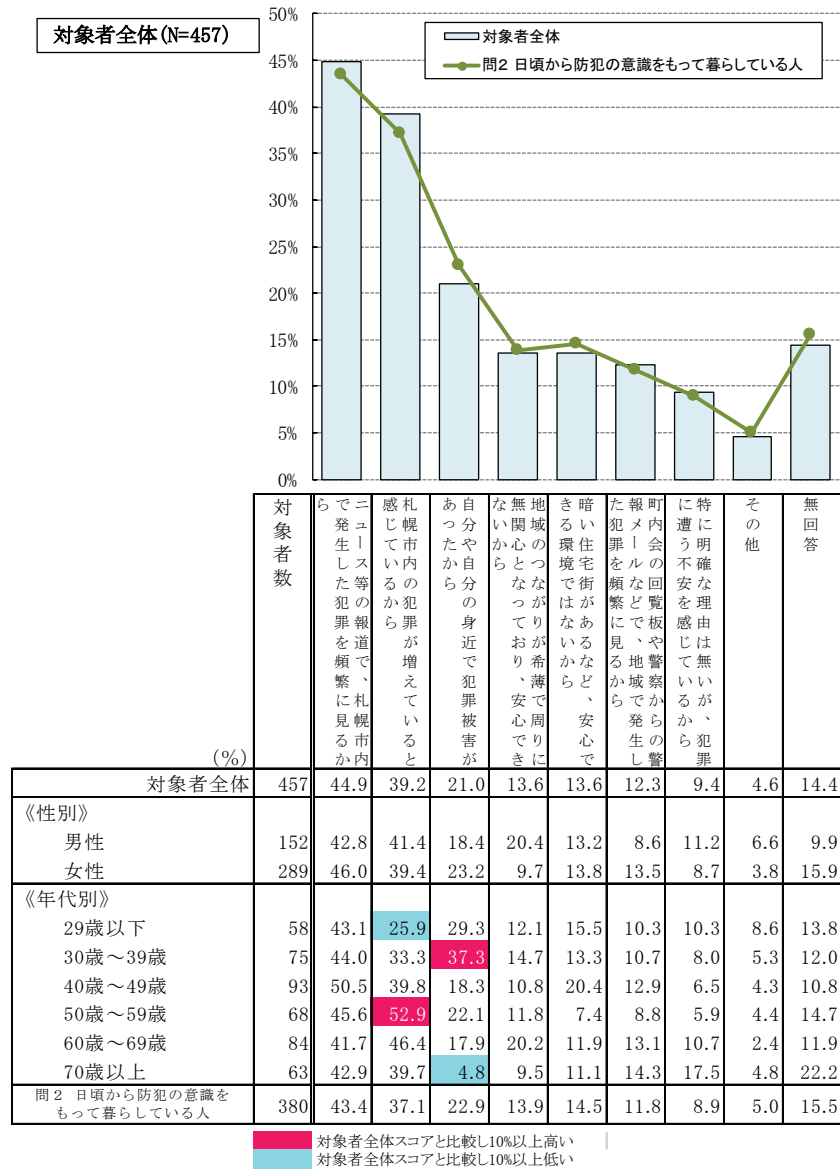
【年代別】 “そう思う” が 70 歳以上で 59.8%と最も高く、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

「犯罪の被害に遭わずに安全に安心して暮らせるまち」だと思わない理由

《問1で「4 あまりそう思わない」または「5 そう思わない」と答えた方にお聞きします》

【問1-1】あなたが「犯罪の被害に遭わずに安全に安心して暮らせるまち」ではないと思った理由は何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

「犯罪の被害に遭わずに安全に安心して暮らせるまち」だと思わない理由として「ニュース等の報道で、札幌市内で発生した犯罪を頻繁に見るから」が4割半ば



【対象者全体】「犯罪の被害に遭わずに安全に安心して暮らせるまち」だと思わない理由について、「ニュース等の報道で、札幌市内で発生した犯罪を頻繁に見るから」が44.9%と最も高く、次いで「札幌市内の犯罪が増えていると感じているから」が39.2%、「自分や自分の身近で犯罪被害があったから」が21.0%となっている。

【性別】「地域のつながりが希薄で周りに無関心となり、安心してできないから」は男性が20.4%と女性の9.7%より10.7ポイント高くなっている。

【年代別】「札幌市内の犯罪が増えていると感じているから」は、50歳代で52.9%と、全体と比較して13.7ポイント高くなっているが、29歳以下では25.9%と全体より13.3ポイント低くなっている。

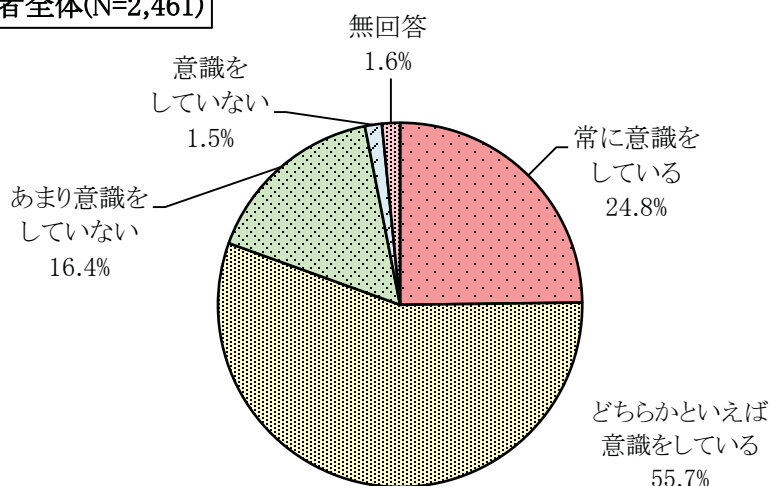
日頃の防犯意識

【問2】 あなたは、日頃から防犯の意識をもって暮らしていますか。

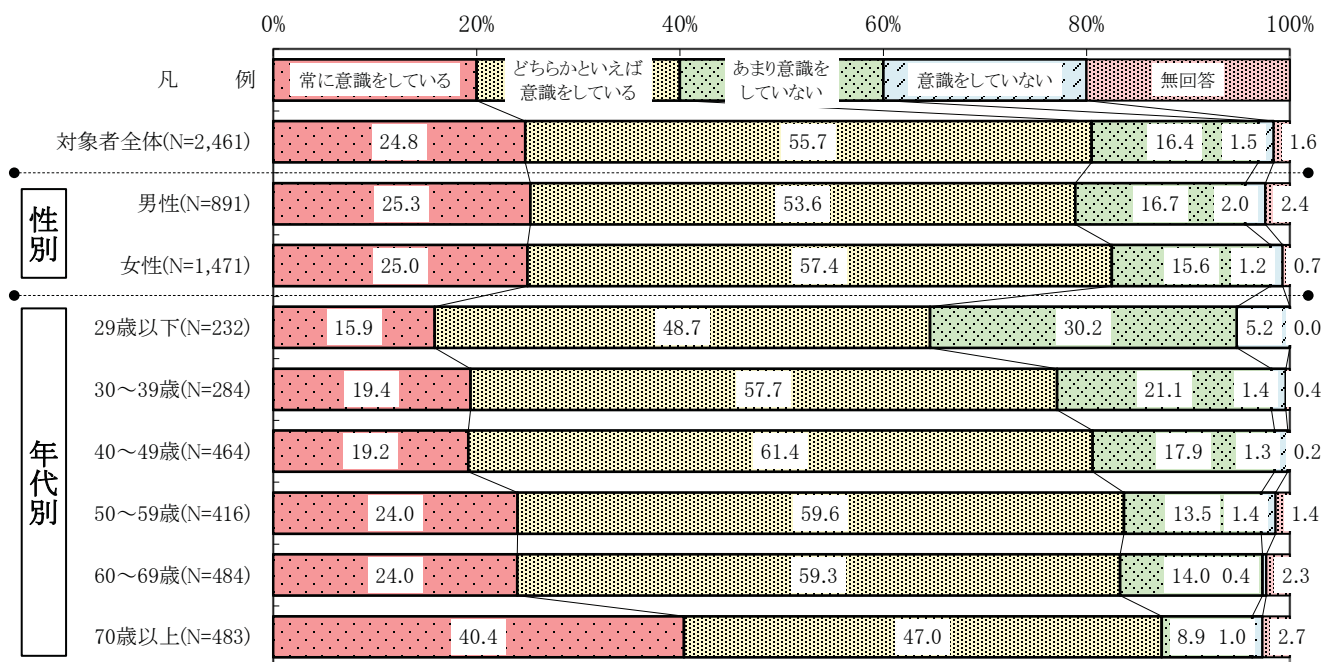
約 8 割が日頃から防犯の“意識をしている”

※“意識をしている”(「常に意識をしている」+「どちらかといえば意識をしている」)

対象者全体(N=2,461)



【対象者全体】 日頃の防犯意識について、「常に意識をしている」が 24.8%、「どちらかといえば意識をしている」が 55.7%、合わせると 80.5%、「あまり意識をしていない」が 16.4%、「意識をしていない」が 1.5%、合わせて 17.9%となっている。



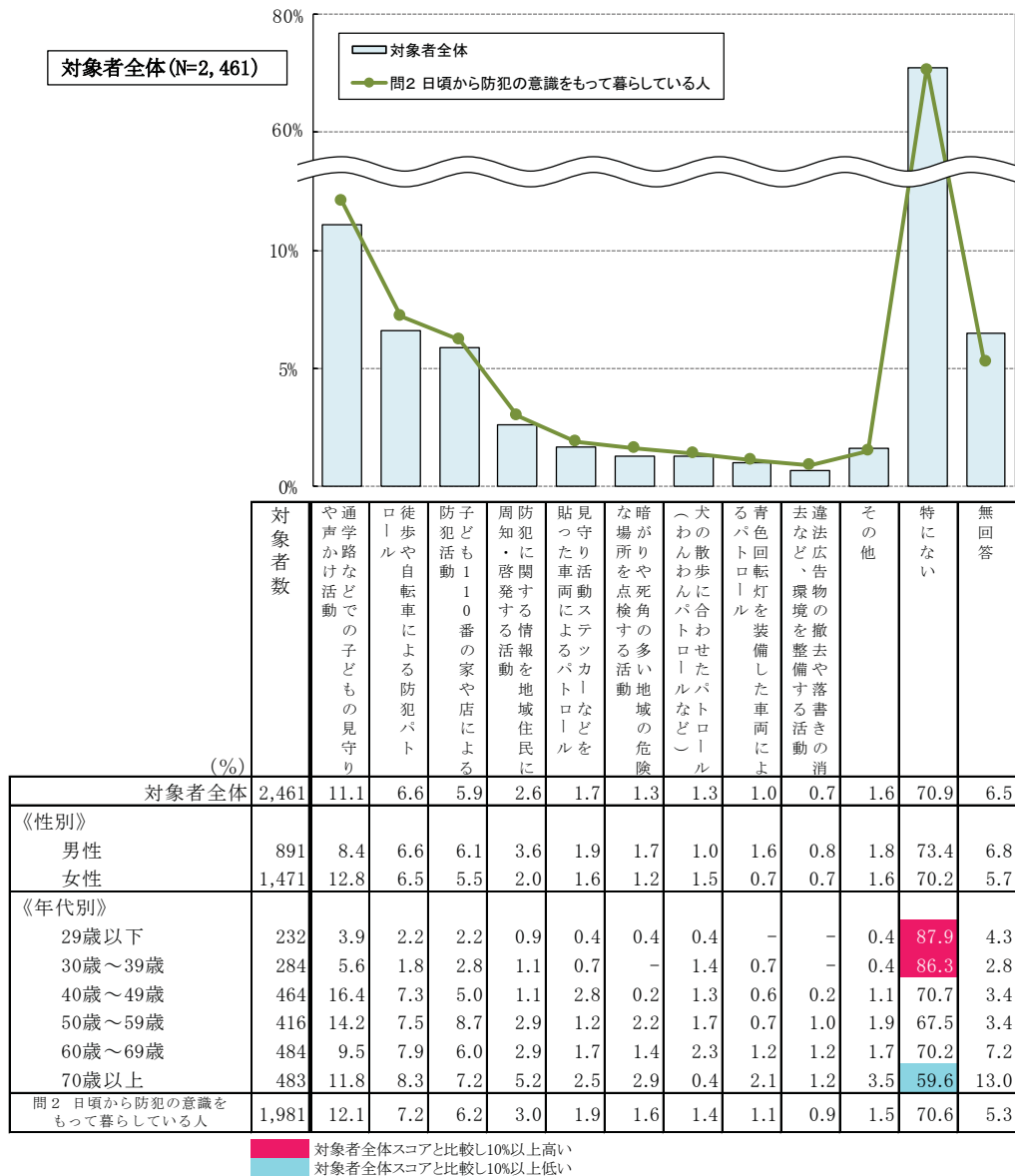
【性別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 「常に意識をしている」が 70 歳以上で 4 割を超えている。

地域防犯活動への参加の有無

【問3】 あなたは、地域で協力して行われている以下の防犯活動に参加したことがありますか。あてはまるもの
にいくつでも○をつけてください。

約7割が地域防犯活動に参加したことは「特にない」



【対象者全体】 地域防犯活動への参加の有無について、「通学路などでの子どもの見守りや声かけ活動」が11.1%と最も高く、次いで「徒歩や自転車による防犯パトロール」が6.6%、「子ども110番の家や店による防犯活動」が5.9%となっている。

【性別】 男女で大きな差は見られない。

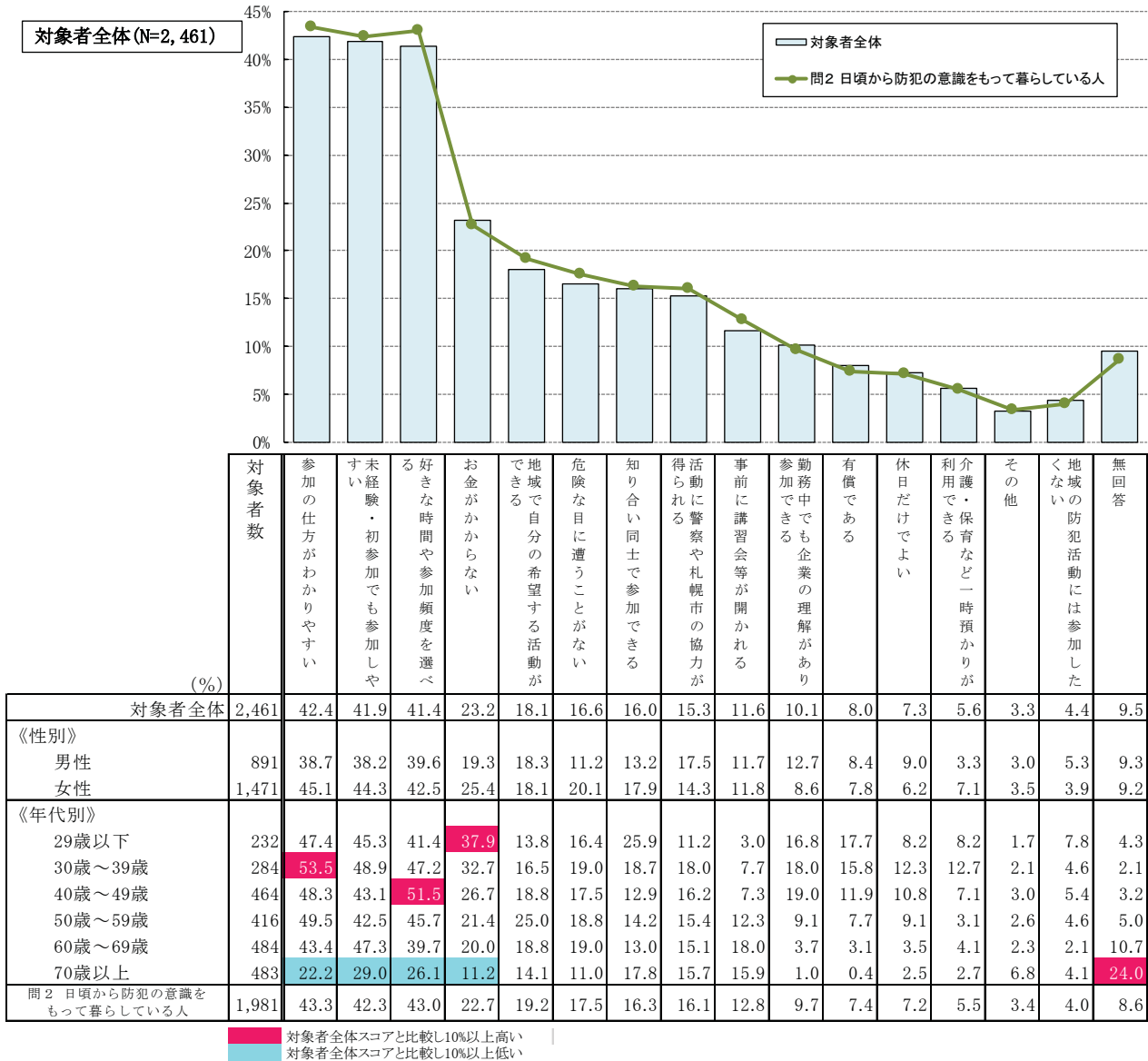
【年代別】 「通学路などでの子どもの見守りや声かけ活動」が40歳代(16.4%)で最も高く、最も低い29歳以下(3.9%)とは、12.5ポイントの差となっている。

また、「特にない」は、30歳代以下で全体と比較して10ポイント以上高くなっているが、70歳以上では59.6%と全体より11.3ポイント低くなっている。

地域の防犯活動に参加しやすくなる条件

【問4】 あなたは、どのような条件が整えば、地域の防犯活動に参加しやすくなると思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

4割強が参加の仕方がわかりやすければ地域の防犯活動に参加しやすくなると思うと回答



【対象者全体】 地域の防犯活動に参加しやすくなる条件について、「参加の仕方がわかりやすい」が42.4%と最も高く、次いで「未経験・初参加でも参加しやすい」が41.9%、「好きな時間や参加頻度を選べる」が41.4%となっている。

【性別】 男性は「好きな時間や参加頻度を選べる」が39.6%と最も高く、女性では「参加の仕方がわかりやすい」が45.1%と最も高くなっている。

なお、「危険な目に遭うことがない」は女性が20.1%と男性の11.2%より8.9ポイント高くなっている。

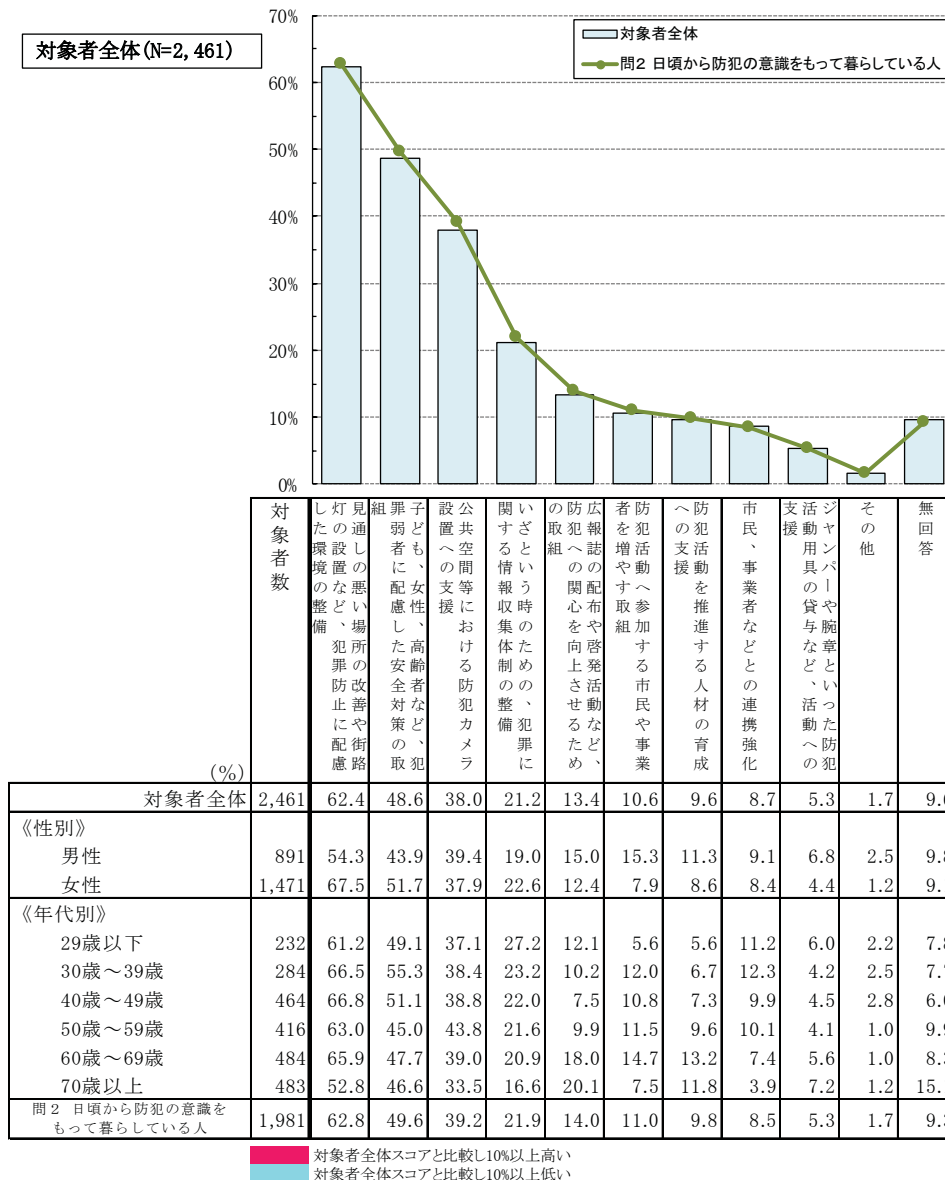
【年代別】 50歳代以下では「参加の仕方がわかりやすい」が最も高くなっているが、60歳代以上では「未経験・初参加でも参加しやすい」が最も高くなっている。

なお、「好きな時間や参加頻度を選べる」は40歳代で51.5%と、全体と比較して10.1ポイント高くなっているが、70歳以上では26.1%と全体より15.3ポイント低くなっている。

安全・安心して暮らせるまち実現のため札幌市に取り組んでほしいこと

【問5】 安全に安心して暮らせるまちを実現するために、あなたが札幌市に取り組んでほしいと思うことは何ですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

「見通しの悪い場所の改善や街路灯の設置など、犯罪防止に配慮した環境の整備」を6割強の人が取り組んでほしいと思っている



【対象者全体】 安全・安心して暮らせるまち実現のため札幌市に取り組んでほしいことについて、「見通しの悪い場所の改善や街路灯の設置など、犯罪防止に配慮した環境の整備」が62.4%と最も高く、次いで「子ども、女性、高齢者など、犯罪弱者に配慮した安全対策の取組」が48.6%、「公共空間等における防犯カメラ設置への支援」が38.0%となっている。

【性別】 「見通しの悪い場所の改善や街路灯の設置など、犯罪防止に配慮した環境の整備」は女性が67.5%と男性の54.3%より13.2ポイント高くなっている。

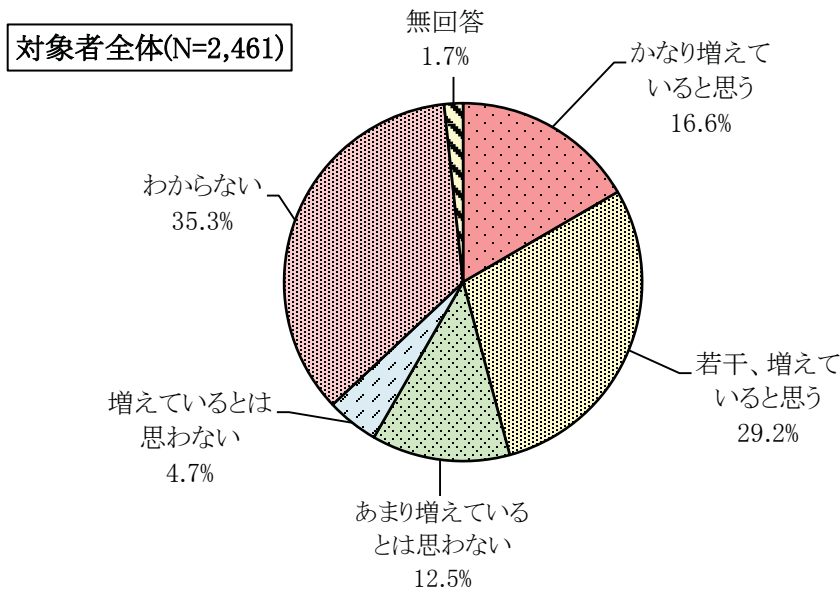
【年代別】 「見通しの悪い場所の改善や街路灯の設置など、犯罪防止に配慮した環境の整備」が40歳代(66.8%)で最も高く、最も低い70歳以上(52.8%)とは、14.0ポイントの差となっている。

防犯カメラの増加について

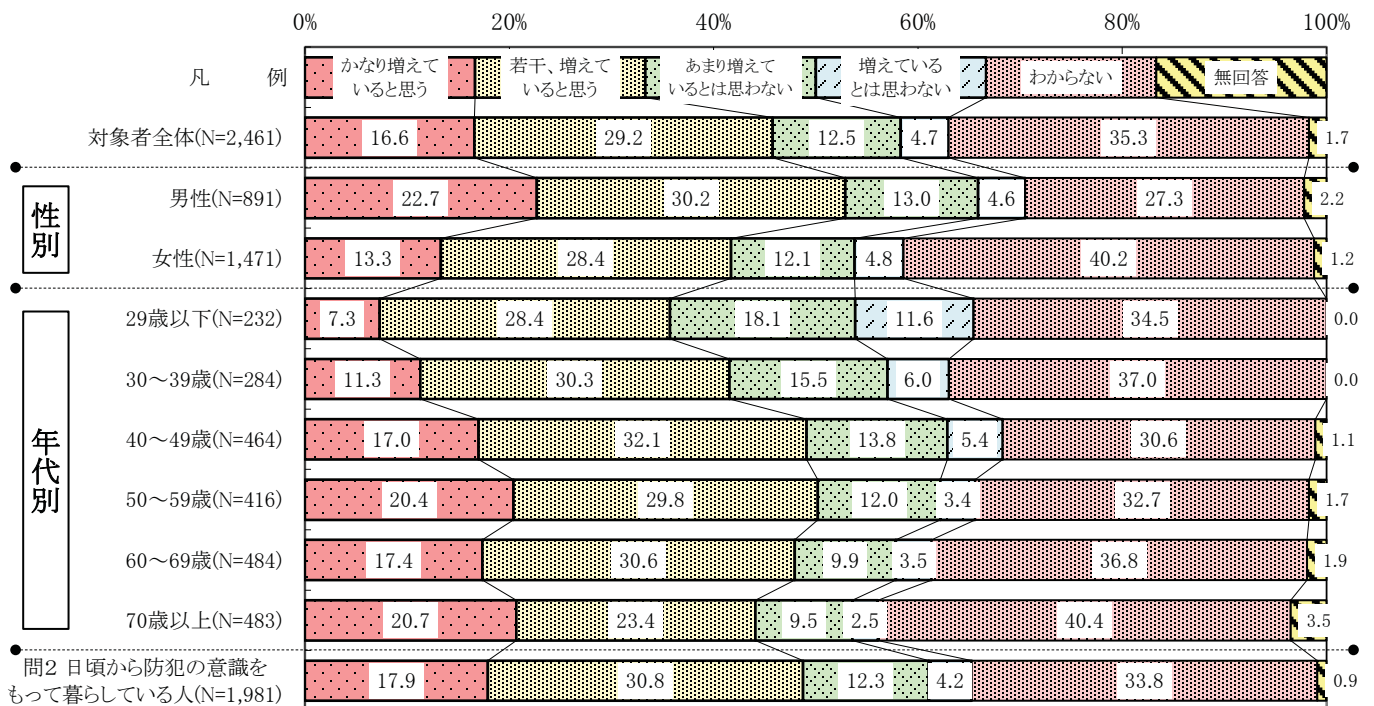
【問6】 あなたは、最近、街中などで防犯カメラが増えていると思いますか。

防犯カメラが“増えていると思う”と4割半ばの人が回答

※“増えていると思う”(「かなり増えていると思う」+「若干、増えていると思う」)



【対象者全体】 防犯カメラの増加について、「かなり増えていると思う」が16.6%、「若干、増えていると思う」が29.2%、合わせると45.8%となっている。一方で、「あまり増えているとは思わない」が12.5%、「増えているとは思わない」が4.7%、合わせると17.1%となっている。



【性別】 “増えていると思う”は男性が52.9%と女性の41.7%より11.2ポイント高くなっている。

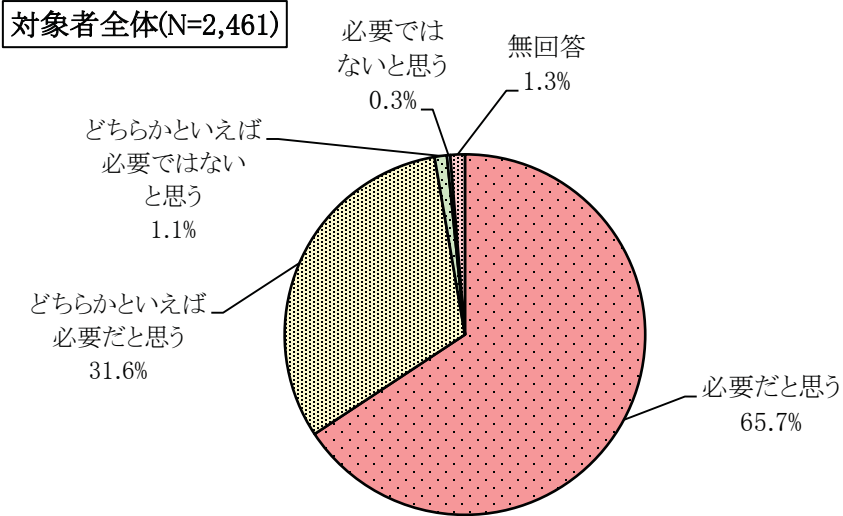
【年代別】 “増えていると思う”が50歳代(50.2%)で最も高く、次いで40歳代(49.1%)、60歳代(47.9%)となっている。

防犯カメラの必要性

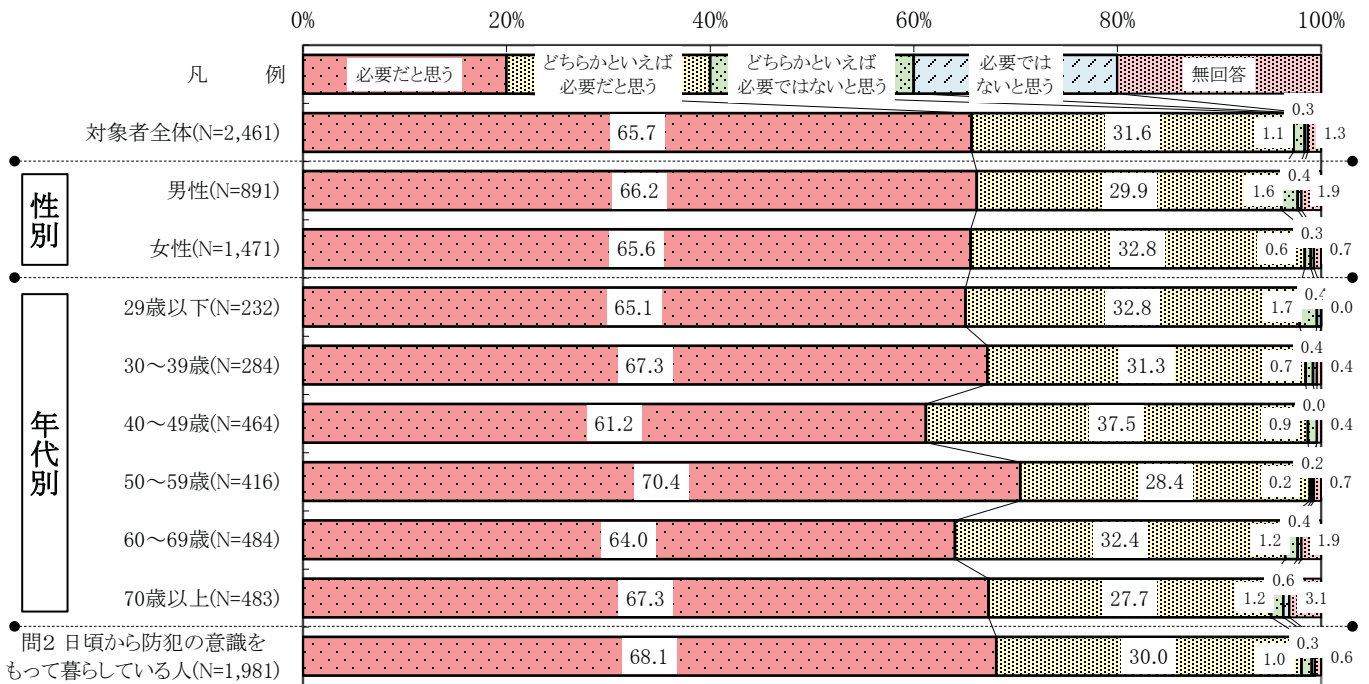
【問7】 あなたは、防犯カメラは必要だと思いますか。

防犯カメラは“必要だと思う”が 97.3%

※“必要だと思う”（「必要だと思う」+「どちらかといえば必要だと思う」）



【対象者全体】 防犯カメラの必要性について、「必要だと思う」が 65.7%、「どちらかといえば必要だと思う」が 31.6%、合わせると 97.3%となっている。一方で、「どちらかといえば必要ではないと思う」が 1.1%、「必要ではないと思う」が 0.3%、合わせると 1.4%となっている。



【性別】 男女で大きな差は見られない。

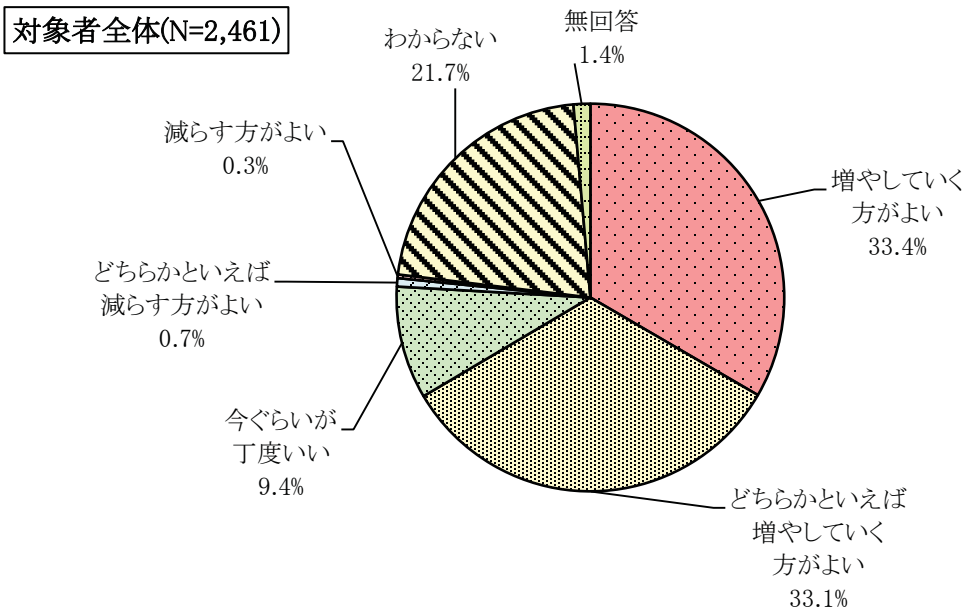
【年代別】 年代による大きな差は見られないが、“必要だと思う”が 50 歳代(98.8%)で最も高くなっている。

街中などに設置されている防犯カメラの数に対する意向

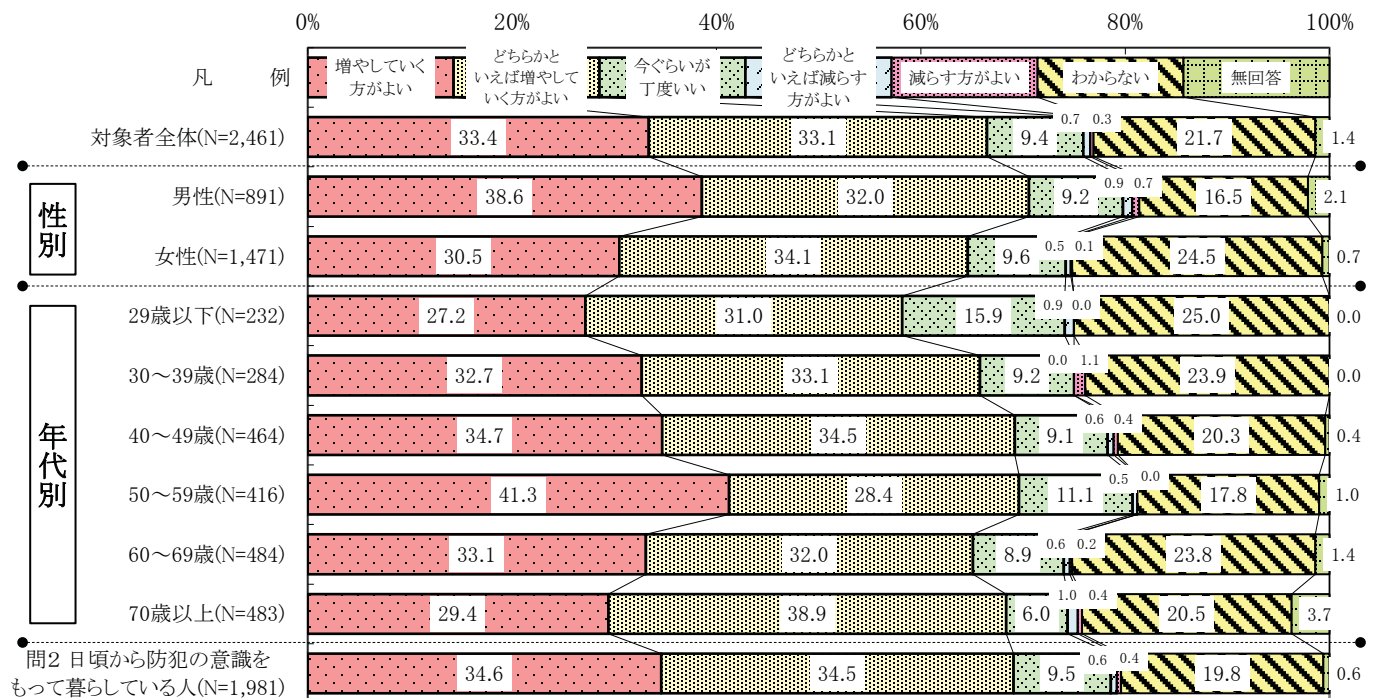
【問8】 あなたは、街中などで設置されている防犯カメラの数についてどう思いますか。

7割弱が街中などに設置されている防犯カメラは“増やしていく方がよい”と回答

※“増やしていく方がよい”(「増やしていく方がよい」+「どちらかといえば増やしていく方がよい」)



【対象者全体】 街中などに設置されている防犯カメラの数に対する意向について、「増やしていく方がよい」が33.4%、「どちらかといえば増やしていく方がよい」が33.1%、合わせると66.5%となっている。一方で、「どちらかといえば減らす方がよい」が0.7%、「減らす方がよい」が0.3%、合わせると1.0%となっている。なお、「今ぐらいが丁度いい」が9.4%となっている。



【性別】 “増やしていく方がよい”は男性が70.6%と女性の64.6%より6.0ポイント高くなっている。

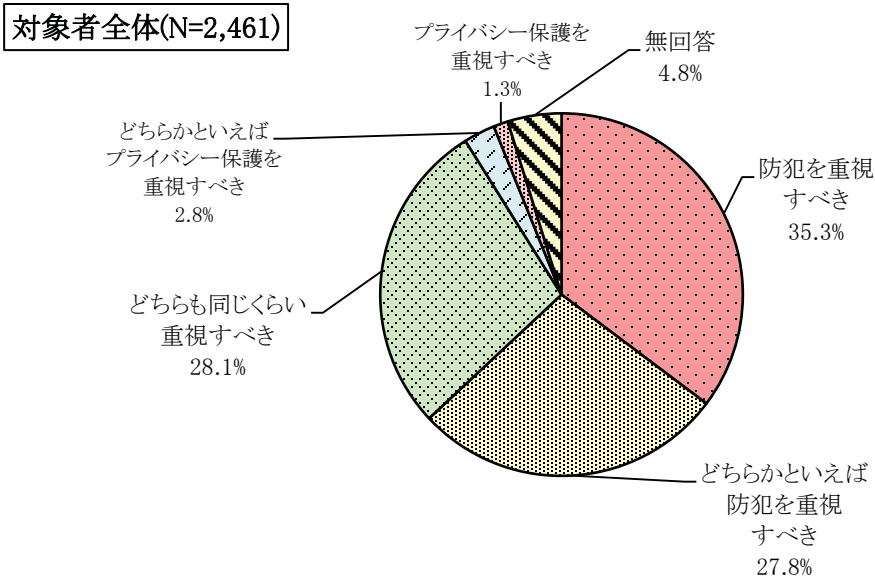
【年代別】 “増やしていく方がよい”が50歳代(69.7%)で最も高く、次いで40歳代(69.2%)、70歳以上(68.3%)となっている。

防犯とプライバシー保護の優先度

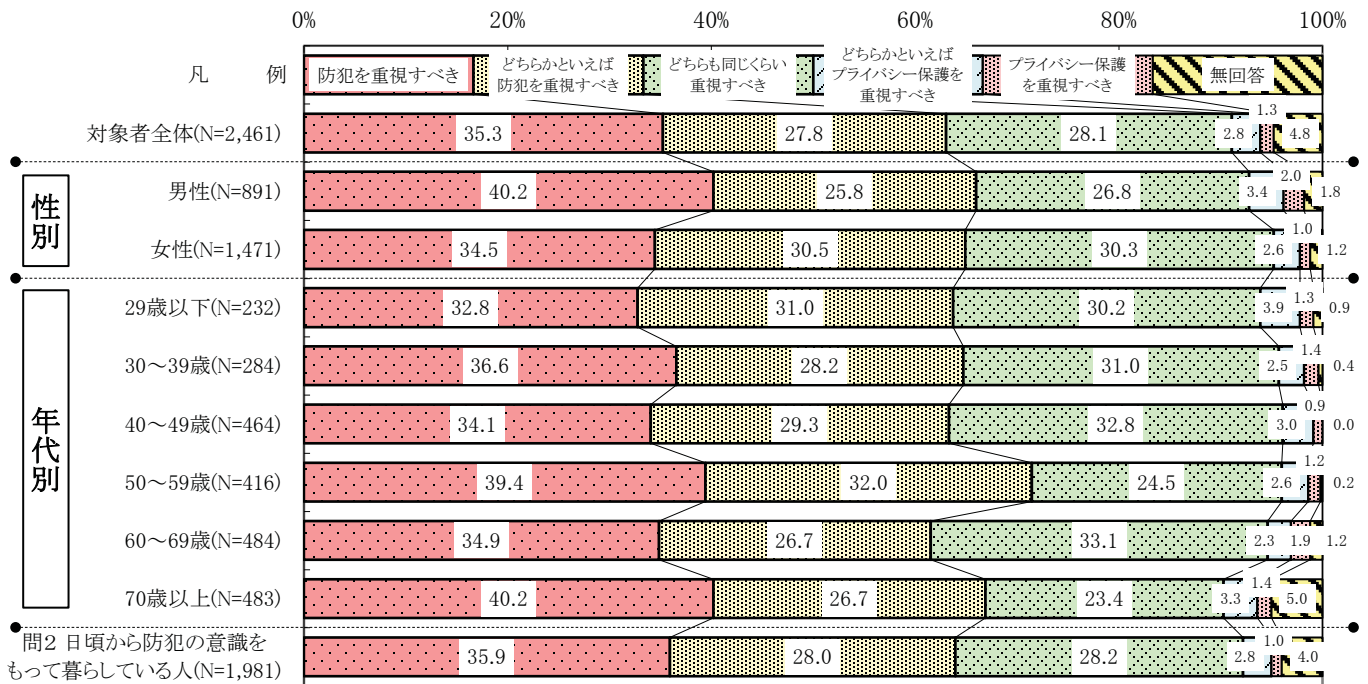
【問9】 あなたは、防犯カメラの設置に関して、防犯とプライバシー保護のどちらを重視すべきだと思いますか。

防犯とプライバシー保護では“防犯を重視すべき”が6割を超えた

※“防犯を重視すべき”（「防犯を重視すべき」+「どちらかというとなら防犯を重視すべき」）



【対象者全体】 防犯とプライバシー保護の優先度について、「防犯を重視すべき」が 35.3%、「どちらかといえば防犯を重視すべき」が 27.8%、合わせると 63.0%となっている。一方で、「どちらかといえばプライバシー保護を重視すべき」が 2.8%、「プライバシー保護を重視すべき」が 1.3%、合わせると 4.1%となっている。なお、「どちらも同じくらい重視すべき」が 28.1%となっている。



【性別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 “防犯を重視すべき”が50歳代(71.4%)で最も高く、次いで70歳以上(66.9%)、30歳代(64.8%)となっている。

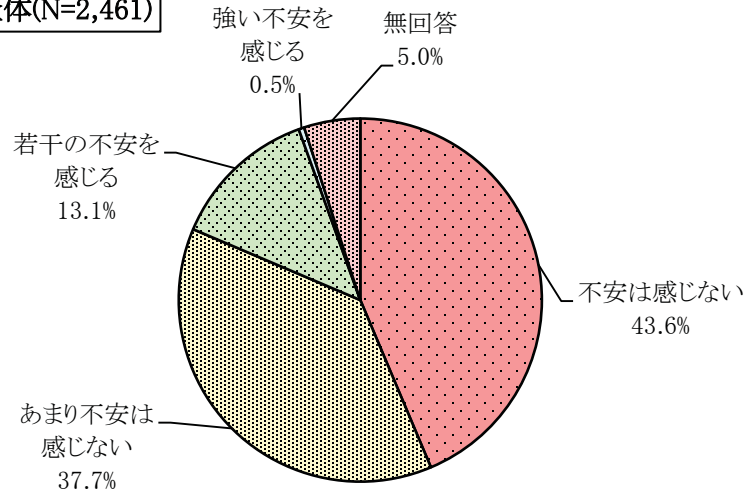
防犯カメラに撮影されていることへの不安感

【問10】 あなたは、防犯カメラに撮影されているという不安を感じますか。

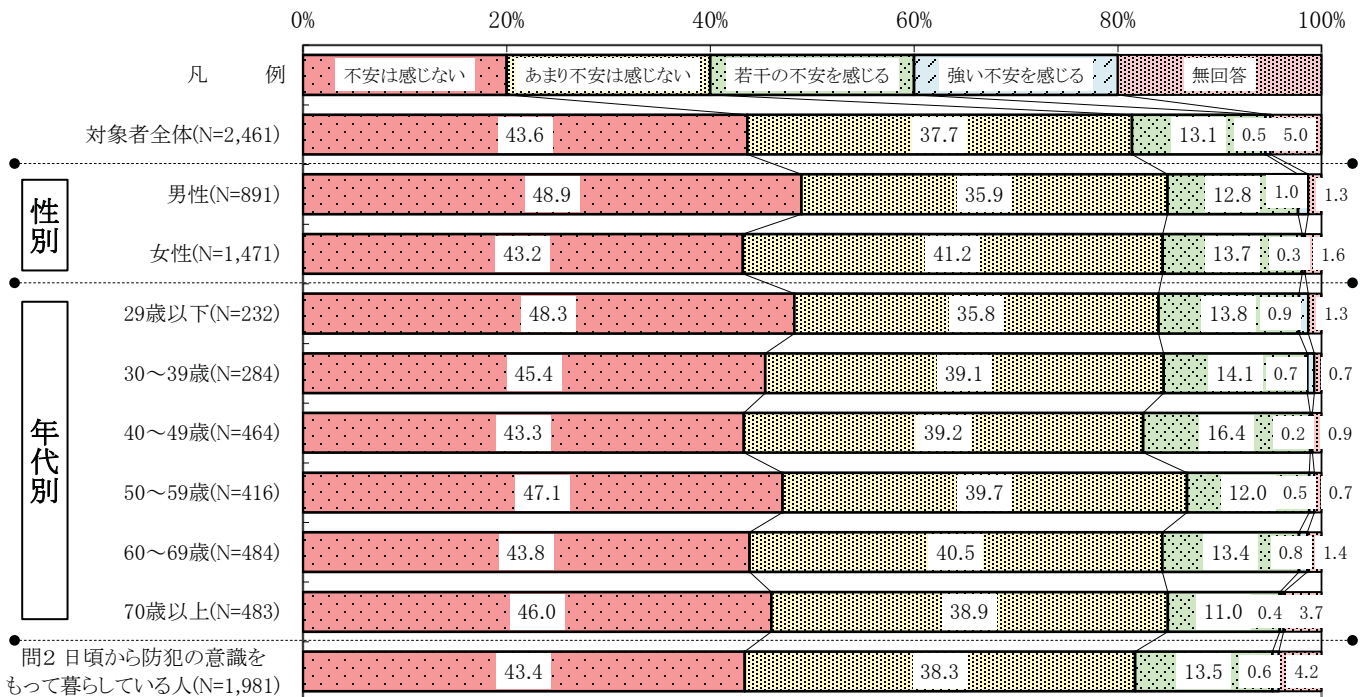
防犯カメラに撮影されているという“不安は感じない”と回答した人が 8 割強

※“不安は感じない”(「不安は感じない」+「あまり不安は感じない」)

対象者全体(N=2,461)



【対象者全体】 防犯カメラに撮影されていることへの不安感について、「不安は感じない」が 43.6%、「あまり不安は感じない」が 37.7%、合わせると 81.4%となっている。一方で、「若干の不安を感じる」が 13.1%、「強い不安を感じる」が 0.5%、合わせると 13.7%となっている。



【性別】 男女で大きな差は見られない。

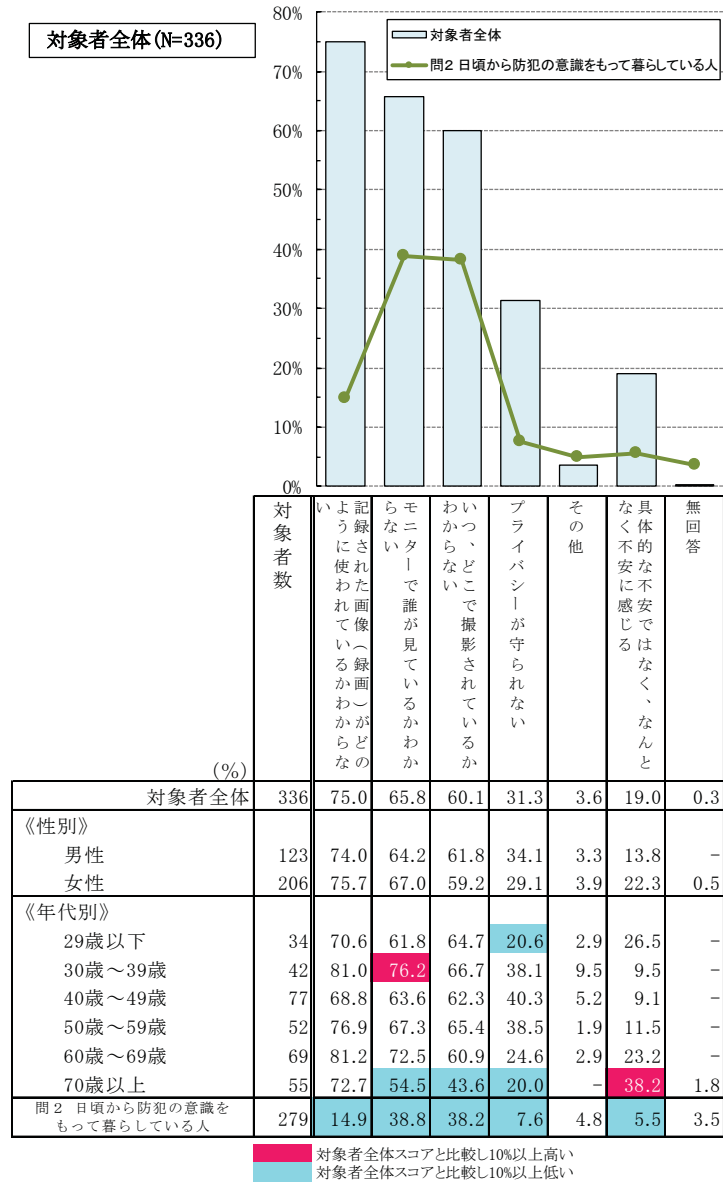
【年代別】 “不安は感じない”が 50 歳代(86.8%)で最も高く、次いで 70 歳以上(84.9%)、30 歳代(84.5%)となっている。

防犯カメラに対して感じる不安の理由

《問10で「3 若干の不安を感じる」または「4 強い不安を感じる」と答えた方にお聞きします》

【問10-1】 あなたが、防犯カメラに対して感じている不安は、どのようなものですか。次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

防犯カメラに対して感じている不安は「記録された画像(録画)がどのように使われているかわからない」が7割半ば



【対象者全体】 防犯カメラに対して感じる不安の理由について、「記録された画像(録画)がどのように使われているかわからない」が75.0%と最も高く、次いで「モニターで誰が見ているかわからない」が65.8%、「いつ、どこで撮影されているかわからない」が60.1%となっている。

【性別】 「具体的な不安ではなく、なんとなく不安を感じる」は女性が22.3%と男性の13.8%より8.5ポイント高くなっている。

【年代別】 30歳代では「モニターで誰が見ているかわからない」が76.2%と、全体と比較して10.4ポイント高く、70歳以上では「具体的な不安ではなく、なんとなく不安を感じる」が38.2%と、全体より19.2ポイント高くなっている。

【問2 日頃から防犯の意識をもって暮らしている人】 「その他」を除く全ての選択肢で全体と比較して低くなっている。